

## 【令和3年度 予算要求の経営方針】

行政委員会事務局は、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員の専門性と中立性を保持しながら、効率的かつ効果的に業務を執行する。

## 【令和3年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨：新規事業、⑩：拡充事業

### ●選挙管理委員会費

要求額 506百万円 (対前年度 +5.4%)

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を公正かつ確実に管理執行する。  
また、市民の政治意識、特に若者層の政治意識の向上に資する事業を実施するとともに、投票環境向上に向けた調査・研究を行う。

- ◇⑨衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査事務
- ◇⑩明るい選挙推進事業

### ●人事委員会費

要求額 39百万円 (対前年度 +7.7%)

中立的・専門的な人事機関として適正な採用試験等を実施するとともに、職員の労働基本権制限の代償措置として、職員の給与等に関する報告・勧告等を行う。  
デジタル社会に対応したWeb方式による採用試験を実施し、北九州市を支える優秀な人材を全国から確保する。

- ◇⑨人事委員会事務 (試験・人勧経費)

### ●監査委員費

要求額 22百万円 (対前年度 ▲3.3%)

市の財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理について、最小の経費で最大の効果を挙げているか、組織及び運営の合理化に努めているか等の観点から、監査、検査、審査等を行い、その結果を公表することにより、公正で合理的かつ効率的な行政の確保に資し、もって市民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与する。

- ◇外部監査契約事務

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和3年度に実施することが確定しているものではありません。